



感染経路不明 4 割 新型コロナウイルス感染症

令和 2 年 8 月 26 日
富山県感染症情報センター
(0766-56-5431 直通)
(0766-56-8142 細菌部)
(0766-56-8143 ウイルス部)

感染症発生動向速報

(令和 2 年第 34 週分・8 月 17 日～8 月 23 日)

《 インフォメーション 》

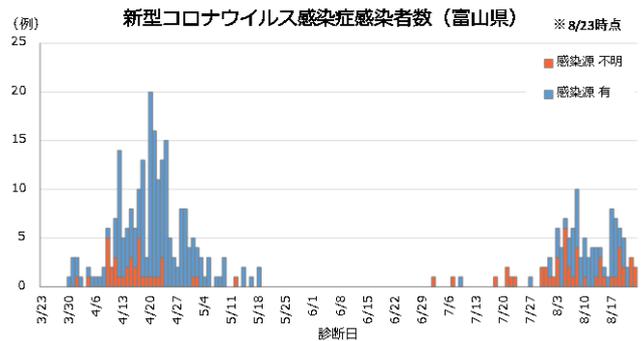
●新型コロナウイルス感染症

国内の新型コロナウイルス感染者数は、8 月 23 日時点で 62,507 例となり、1,181 例の死亡が確認されています。8 月 24 日に開催された厚生労働省の新型コロナウイルス感染症対策アドバイザリーボードにおいて、7 月中旬に急増した国内の感染者数は、7 月下旬をピークに減少に転じた可能性が示されました。しかし、まだ感染者数が多いことに変わりなく、今後も感染者数の推移を注視する必要があります。

県内では、今週新たに 33 例の感染者が報告され、8 月 23 日時点の累積感染者数は 341 例になりました(図参照)。今週報告された 33 例の内、感染経路不明の割合は約 4 割と高く、20～50 歳代に多い状況です。

引き続き、人との距離を保つことで接触機会を減らす、マスクを着用する、手洗いなどの手指衛生を行う、3密(①密閉、②密集、③密接)を回避する、クラスターが発生しているような施設への立ち入りを控える、感染者が多く発生している地域への往来は特に緊要度の高いものを除き自粛する等の感染対策を心がけることが重要です。

新型コロナウイルス感染症の初期症状は発熱、咽頭痛、咳など通常のかぜ症状と同様です。しかし、かぜと比較して、体のだるさが強く、その症状が長く続きます。また、症例によっては肺炎を起こし重症化します。発熱等のかぜ症状がある方は自宅で療養・待機してください。症状が続く場合は帰国者・接触者相談センターに相談の上、指定された医療機関を受診しましょう。強いだるさ、息苦しさ、高熱(38.0℃以上)等があり肺炎が疑われる方、高齢者や基礎疾患等がある方は重症化することがあるため、早めにご相談ください。



《 全数報告の感染症 》

- 指定感染症 新型コロナウイルス感染症 33件
- 二類感染症 結核 1件(第33週診断分:90歳代、男性)
- 三類感染症 腸管出血性大腸菌感染症 3件(①第33週診断分:10歳未満、女性、O157、VT2
②20歳代、女性、O26、VT1
③50歳代、女性、O157、VT2)
- 五類感染症 カルバペネム耐性腸内細菌科細菌感染症 1件(80歳代、男性)

《 定点報告の感染症 》

今週の県内上位6疾患		定点あたりの数	
順位	疾病名	今週(増減)	先週
1位	感染性胃腸炎	2.45(↑)	2.31
2位	突発性発しん	0.79(↑)	0.52
3位	マイコプラズマ肺炎	0.40(↑)	0.20
4位	A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	0.34(↑)	0.31
5位	咽頭結膜熱	0.14(↓)	0.21
	手足口病	0.14(↑)	0.07

この内容は以下のホームページでさらに詳しくご覧いただけます
アドレス <http://www.pref.toyama.jp/branches/1279/kansen/>

○感染症発生動向調査報告状況（令和2年第34週 令和2年8月17日～令和2年8月23日）

分類	疾患	今週報告分（第34週）						累積報告数					
		新川	中部	高岡	砺波	富山市	計	新川	中部	高岡	砺波	富山市	計
指定感染症	新型コロナウイルス感染症	4	3			26	33	33	11	33	10	254	341
二類感染症	結核							9	3	22	8	26	68
三類感染症	腸管出血性大腸菌感染症			2			2			9		8	17
四類感染症	E型肝炎							2					2
	A型肝炎							9				1	10
	デング熱											1	1
	レジオネラ症							1		10	1	13	25
五類感染症	アメーバ赤痢										1	2	3
	ウイルス性肝炎											1	1
	カルバペネム耐性腸内細菌科細菌感染症			1			1	1		4	1	3	9
	急性脳炎							2		1		1	4
	劇症型溶血性レンサ球菌感染症									2		4	6
	後天性免疫不全症候群											1	1
	侵襲性肺炎球菌感染症							2		2		5	9
	水痘（入院例）							1	2	2		2	7
	梅毒							2		3		12	17
	破傷風											2	2
	百日咳											24	26
	定点疾病 (下段は定点当たりの患者数を示す)	インフルエンザ							625	290	892	567	1,190
RSウイルス感染症								2	5	26	4	37	74
咽頭結膜熱		3 0.75		1 0.13			4 0.14	80	56	104	8	75	323
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎		2 0.50		1 0.13		7 0.70	10 0.34	115	176	1,129	170	1,319	2,909
感染性胃腸炎		25 6.25	6 2.00	10 1.25	3 0.75	27 2.70	71 2.45	839	470	601	251	1,725	3,886
水痘				2 0.25			2 0.07	29	30	60	16	94	229
手足口病				2 0.25		2 0.20	4 0.14	18	2	21	7	50	98
伝染性紅斑								9	26	30		162	227
突発性発しん		1 0.25		6 0.75	5 1.25	11 1.10	23 0.79	24	20	140	52	121	357
ヘルパンギーナ		1 0.25			1 0.25		2 0.07	53	1	13	3	5	75
流行性耳下腺炎									5	5	4	12	26
流行性角結膜炎								1	5	8	2		16
細菌性髄膜炎										1			1
無菌性髄膜炎								1			1	5	7
マイコプラズマ肺炎				2 2.00			2 0.40	2	7	21	16	9	55
クラミジア肺炎												1	1
感染性胃腸炎（ロタウイルス）										2	2		4
インフルエンザによる入院患者（*）							42	5	28	74	53	202	

本週報のデータは速報値であり、今後、調査などの結果に応じて若干の変更が生じることがあります。

* インフルエンザによる入院患者累計報告数は、令和元年第36週(9月2日)～の集計です。